(2004.12.28. 作成者:瀬尾和大)

7億対応フロー
• 码绝效品
わる震災
越地震に関
F新潟県中j
१16 (2004) ⊈
出

有数対応 計量性的の 調子 (1)	クーに重切対策技能 (国面が対策技能 (国面が対策技能 (国面が対策を関係を作了に配信 (国面が対策を関係を作了に配信 (国面が対策を開催を引き、日本 (国面が対策を開催を (国面が対策を (国のが対策を (国の対策を (知述対域を (知述対策を (国の対策を (知述対域を (国の対策を (知述対域を (国の対域を (知述対域 (知述対域		音音楽 施災 書指定 首相野 を急く方針と表明 (山石 表明 力の住民) (山石 表明 力の住民) (山石 表明 力の住民) (山石 表明 力の住民) (山石 表明 力の住民) (田 元 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		と	10月の経済動向 精響前に住宅権理を 両 への構造は表		の被災地制制 (特別非常災害)の指定 「新湯大素(政傷) 下上の。 (下海湖大海) 立成者 (下海湖大海) 立成者 全於で海海側に109 講 北大農業関係の維着を抗算・単位の句 24 大海素制制 工業・製作の維着を指列 1 山本市場が100万円 工程的が100万円 100万円 100万円 100万円 100万円 100万円 100万円 100万円 100万円 100万人 100万円 100万人 100万円 100万円 100万円 100万円 100万人 100万円	定	文書の指定 作業の支援を持着、激素災害に非定[17,26] 「作業所表文 政治を機能で 「具 政治(2015)」 「
		死者23人(24日2330) けが1800人間 死因: 家屋や車庫の倒壊9 土砂災害で家屋倒壊2 前れたみ場の下敷き ションク系や持病急変を 入院中呼吸チューブ外れ1	死者26人(25日23時) 負債者約240人 小出町の段子3人不明 不明者の車を発見 (10/26)	死者31人(26日) 死者32人(27日) 不明 3人 不明 1人 最情常於252人 負備並568人 過離者103.178人 避離者924人 別報者103.178人 避難者924人 別記十分後の増加は 高調整土指令後十付け の康労による突然死	A(28日) 2599人 99,111人 カ2人死亡 車に 一クラス症候群?	(11/1) 5人 5人 334人(うち900 車中泊の3書 労死 車	死者39人(11/6) 負傷者2616人 凝離者34,741人	売着40人(11/11) 負傷者2756人 登離者12.551人 被災債	死者40人(11/23) 負傷者2859人 避難者6570人 たこつぼ型心筋症続 をこのぼ型心筋症機 記録に調査 長岡高町匠	死者40人(12/1) 6個者2888人 避難者5137人 発 災害医學に新たな課題 后是機群上躺臺型心筋症 同地に隔淡集中住民は 高業者反議県も否定的
	問 発は運転機器を決定(核燃料- NR等河原調整池の提体 十日町市北盤坂地区(こ)	大郎中中級アニ 主宅を表 156様 半婆 250様 一部損壊2177様 大が溢れる)	住宅全壕 152棟 半墩 267棟 一部損壕2312棟	(1982) - (1983) (1984) (1983) (1984	住宅全域 293棟 半壊 398棟 一部損機5350棟	365棟 住 349棟 375棟 — 調開鎖を決定 野池に地割り	住宅全様 428様	主宅全様 811様 半様1791様 半様1791様 「建て替え」が「補修」が 当る隔電に大節急称 一場に打撃 キップル	に4条件: 開発に1-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17	in.來它心心的 住宅全換8014模 大規模半壞600模 半裝1816模 一部損模77.838模 原放公企業に最高2億円融資
火災発生と 長岡市で議 土砂崩れに	火災奏七の青機系列 長間市で第平など人災免略。三条市でも1件 土砂原れによる生き塩め多数	火災 10様 火災 10.28-271二20ミリ前後の商客予想(気象) 土砂崩れや亀裂のため少雨でも要注意	· ************************************	火災 11様(これ以降統計をわらず) 各地で新たな斜面崩壊が発生 参見で不明者3人の複素開始 「3人生者の協議・情報混乱 「男は生造・母死しが20日 朝刊1面トップ(こ、翌日女児)	山古志5ヶ所に天然ダムが発生 芋川流域で土石流発生を懸念 砂で セオンは指布にプクー 上が静木850ヶ所を確認 工砂磨水850ヶ所を確認 ご一確認 農水省、農業用ダムに	復日のかと打っず本 中日町の部物産業 同一線が変を分けた。 「中級変を分けた。 手に落成でみ終め上の時本開始・1が毎日村が県に要請 第一日で七年海線が第一の一日の日本の一日の 議時地区で展発を集しる条本館が同じる。	復旧のめど 十日町の株 「地盤災害」に 様水開始 12市町村が9 (竜光の土石流センサー制	立たず休業・営業縮小 物産業で操業開始 万然ダム」の呼引 も支援を 東竹沢地区のグラ 県に要請 から3倍に広がっ 保助] 土砂ダムは降雪 第411/7) 国交省「柴出城	養鯉業に激甚指定へ 国産権助率93% 務から上砂ダム」に、 ム水量は10/28 目に備えが抜きが基本、 電ご備え水抜きが基本、 電影調査を削勢・	(1990の上ですな業・業務の、素機業の素機業に業業的で、機関医の20年7年を実験を表現では、
本震17:56(1 余震18:12 余震18:3	本度17年6/48 8 最大震度: 6強) 10/23 震度6號 36 余額18.12億大震度: 6強) 無度6等 16 余額18.34億大震度: 6倍) 無度6等 4 線度6線 4 線度6線 9 18 線度6線 9 18	3回 10/24 驚魔6路 0回 11回 驚疫6路 0回 40 震疾6路 0回 11回 震疾6路 1回 11回 震疾6 4回 9回 震疾4 4回	10/25 震度5強 1回 震度5弱 1回 3	10/27 艦度6碳(M6.1) 態度6以上は10/23以来で5回	Z. 文文書の念れなしと怨表 本 憲時の川口は震度7に 阪神以来、計測では初	乗か買い取り移転補償 震度4(M50)の余震(11/1) 11/2も震度4(M39) 震度5強(M5.2)の分	震度4(11/6) 震度5強(M 震度5強(M 震度4七3回		N-向住民集団移転を決意. 異内途風・被災地大荒れ 車庫・アント吹き飛ぶ (11/26-27) 題	 ■ 「本報」(1000mm分) 「表現」(1000m分) 「本元」(1000m分) 「本元」(1000m分) 「本元」(1000m分) 「本元」(1000m分) 「本元」(1000m分) 「本元」(1000m分) 「本元」(1000m分) 「本元」(1000mm分) 「本元」(1000mm
,	前後三原衛等の施力による(東京教大教教) イントは安全に イントは全国権力をよった。 日本の大学会会を 日曜の参加をおりた。 日曜の参加をからて、東大二郎社教 市場の参加をから、「東大二郎社教	余震雄率提示 第1、余震の可能性(気を) 第3県中越地震と命名(象件) 第3県中越地震と命名(象件) 間の被害が注目される。トンネル氏	・金銭も配送を開発を引きます。 ・ 1995年の日本代後には、1995年の日本に、1995年の日本代表の日本の日本代表の日本代表の日本代表の日本代表の日本代表の日本代表の日	度6強の可能性(気) 新たな断層の活動が なぜ大きな余震が追 なぜ入きな余震が追 が」	27日の余震は共役断層による(国土地理院) による(国土地理院) 道路被害の半数に盛り土! 地下構造が原因 地下構造が原因 ずか41軒 (報告会を開催	国文本が山口の原因の前位写真な分析、川口・超之川を開 素面線(100分析、町工工工工厂の大型、一大型に研究) 原域、電視・ボリンは、大型が大型に関する。 を表現している。 を表現している。 を表現している。 を表現している。 では、これでは、一大型が大型に関する。 を表現している。 を表現している。 では、これでは、一大型では、一大型では、一大型を表現します。 を表現に関する。 では、これでは、一大型では、一大型では、一大型を表現し、一大型では、一大型では、一大型では、一大型では、一大型では、一大型では、一大型では、一大型では、一大型では、一大型では、一大型では、一大型では、一大型では、一大型型では、一大型	写真を分析. 川口-堀立に に以上の大槻・ゲーン発見 けは芋川流域、R上結線で 天然ダムを確認 が短周期のため(雄助教! の見方分かれる。	がたいの来アル解) 力に診験 ・	や次代に(武村 価の被害大、 価を学会など 調査委り、関 新幹線脱線に 被災住宅の 無数にもの	氏長岡で講演) 川口の震度計記録 各期の監視強化 なまされる。15G額 15cam's 4dom机 電学会合同報告会最大余度は短期期 一複数化間密整 で25G4(1274) 当対策のための補強派。展開表対 沿近神の水田二本電階層を確認(12/8)
発生	数時間後 半日後	1日後	2日後		1週間後	配2	間後	*	4 田 参	2ヶ月後